

2024～2033年度の連系線の運用容量 (年間・長期) (案)

2024年2月13日

電力広域的運営推進機関

1. 2024年度の年間運用容量
2. 2025年度の年間運用容量
3. 特殊日の運用容量
4. 2026～2033年度の長期運用容量
5. 全国系統の運用容量（2024年度8月平日昼間帯）

1. (1) 2024年度の年間運用容量 (平日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】
	東北向	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【30(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①) 【101(①)】	236(①) 【129(①)】	236(①) 【129(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	【315(①)】	560(①) 【375(①)】	456(②) 【310(①)】	551(②)	650(①)	466(②)	531(②) 【471(②)】	521(②) 【521(②)】	555(①) 【355(①)】	596(②)	635(①) 【635(①)】	【455(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【150(③)】	210(①) 【150(④)】	【135(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	210(①) 【150(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
	中部向	210(①)	210(①) 【150(④)】	【127(①)】	【172(①)】	【172(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	210(①) 【150(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	49(④) 【0(①)】	42(④)	61(④)	91(④)	102(④)	前半94(④) 後半79(④)	57(④)	前半70(④) 後半70(④)	89(④)	104(④)	77(④)	前半62(④) 後半57(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	130(④)	130(④)	150(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【150(④)】	130(④)	130(④)	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	170(④)	147(④)	184(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【210(②)】 後半190(②) 【193(④)】	180(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半185(④) 後半178(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	130(④)	130(④)	150(④)	150(④)	150(④)	150(④) 【0(①)】	130(④)	130(④)	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	170(④)	147(④)	184(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【0(①)】 後半190(②) 【0(①)】	180(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半185(④) 後半178(④)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	415(③) 【425(③)】	415(③)	425(③) 【425(③)】	450(③)	465(③)	前半465(③) 後半445(③) 【395(③)】	445(③) 【345(③)】	445(③) 【395(③)】	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【0(①)】
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【02】	0(②) 【02】	0(②) 【02】	0(②) 【0(①)】
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】
	四国向	120(①)	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①) 【20(④)】	前半120(①) 【30(④)】 後半120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	120(①) 【120(④)】	前半120(①) 【22(④)】 後半120(①) 【19(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	207(④) 【159(④)】	193(④) 【146(④)】	209(④)	231(④)	230(④)	前232(④) 後217(④)	211(④)	前216(④) 後221(④)	243(④)	262(④)	247(④)	前223(④) 後213(④)
	九州向	7(④) 【0(④)】	4(④) 【0(④)】	9(④)	24(④)	23(④)	前18(④) 後15(④)	8(④)	前13(④) 後13(④)	20(④)	20(④)	17(④)	前17(④) 後16(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (2) 2024年度の年間運用容量 (平日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
	東北向	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①) 【177(①)】	236(①) 【129(①)】	236(①) 【129(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	【335(①)】	496(②) 【355(①)】	401(②) 【361(②)】	506(②)	555(①)	426(②)	471(②) 【411(②)】	466(②) 【466(②)】	535(①) 【345(①)】	540(①)	535(①) 【535(①)】	【531(②)】
東京中部間連系設備	東京向	【150(③)】	210(①) 【150(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【90(①)】	【135(①)】	210(①) 【150(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
	中部向	210(①)	210(①) 【150(①)】	【142(①)】	【172(①)】	【172(①)】	【172(①)】	【90(①)】	【135(①)】	210(①) 【150(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	82(④) 【0(①)】	69(④)	76(④)	94(④)	102(④)	前半100(④) 後半91(④)	90(④)	前半96(④) 後半98(④)	110(④)	127(④)	125(④)	前半104(④) 後半94(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②)	186(④)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【210(②)】 後半190(②) 【210(②)】	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②)	186(④)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 【0(①)】 後半190(②) 【0(①)】	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	415(③)	415(③)	425(③)	450(③)	465(③)	前半465(③) 後半445(③)	445(③)	445(③)	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【0(①)】
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(①)】
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①) 【72(④)】	前半120(①) 【92(④)】 後半120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【82(④)】 後半120(①) 【72(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	182(④) 【176(④)】	168(④) 【162(④)】	180(④)	194(④)	187(④)	前196(④) 後183(④)	180(④)	前190(④) 後191(④)	206(④)	226(④)	229(④)	前199(④) 後189(④)
	九州向	30(④) 【21(④)】	26(④) 【17(④)】	27(④)	34(④)	37(④)	前37(④) 後34(④)	35(④)	前38(④) 後39(④)	43(④)	45(④)	45(④)	前39(④) 後36(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (3) 2024年度の年間運用容量 (休日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【80(①)】	236(①)	236(①)	236(①) 【176(①)】	236(①)	236(①) 【176(①)】	236(①)
	東京向	555(①)	551(②)	471(②) 【461(②)】	561(②)	650(①)	466(②) 【461(②)】	531(②) 【526(②)】	521(②) 【521(②)】	555(①) 【355(①)】	596(②)	635(①) 【545(①)】	【455(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【105(③)】	【150(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【135(①)】	【180(①)】	【60(①)】	【135(①)】	210(①) 【60(①)】	210(①)	210(①)	【129(①)】
	中部向	210(①) 【165(①)】	210(①) 【150(①)】	【142(①)】	【172(①)】	【127(①)】	【172(①)】	【60(①)】	【135(①)】	210(①) 【60(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	28(④)	24(④)	33(④)	60(④)	77(④)	前半71(④) 後半47(④)	33(④)	前半39(④) 後半42(④)	62(④)	70(④)	45(④)	前半40(④) 後半39(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	129(④)	125(④)	139(④)	176(④)	190(②)	前半190(②) 【175(④)】 後半160(④) 【143(④)】	138(④)	前半149(④) 後半154(④)	176(④)	186(④)	156(④)	前半149(④) 後半145(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	129(④)	125(④)	139(④)	176(④)	190(②)	前半190(②) 【0(①)】 後半160(④) 【0(①)】	138(④)	前半149(④) 後半154(④)	176(④)	186(④)	156(④)	前半149(④) 後半145(④)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	415(③)	415(③)	425(③)	450(③)	465(③)	前半465(③) 後半445(③)	445(③)	445(③)	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【0(①)】
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②) 【02】	0(②) 【02】	0(②) 【02】	0(②) 【02】	0(②) 【0(①)】
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	前半120(①) 【108(④)】 後半120(①) 【111(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【106(④)】	前半120(①) 【8(④)】 後半120(①) 【5(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	175(④) 【130(④)】	165(④) 【122(④)】	175(④)	199(④)	207(④)	前205(④) 後183(④)	178(④)	前184(④) 後188(④)	202(④)	215(④)	199(④)	前185(④) 後185(④)
	九州向	0(④) 【04】	0(④) 【04】	2(④)	14(④)	18(④)	前14(④) 後8(④)	2(④)	前6(④) 後8(④)	14(④)	13(④)	7(④)	前12(④) 後10(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (4) 2024年度の年間運用容量 (休日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
	東北向	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)	90(①) 【60(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【179(①)】	236(①)	236(①)	236(①) 【230(①)】	236(①)	236(①) 【230(①)】	236(①)
	東京向	511(②)	496(②)	416(②) 【406(②)】	516(②)	555(①)	426(②) 【421(②)】	471(②) 【466(②)】	466(②) 【466(②)】	535(①) 【345(①)】	540(①)	535(①) 【545(①)】	【531(②)】
東京中部間連系設備	東京向	【105(③)】	【150(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【135(①)】	【180(①)】	【135(①)】	【90(①)】	210(①) 【60(①)】	210(①)	210(①)	【129(①)】
	中部向	210(①) 【165(①)】	210(①) 【150(①)】	【142(①)】	【172(①)】	【127(①)】	【172(①)】	【135(①)】	【90(①)】	210(①) 【60(①)】	210(①)	210(①)	【135(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	61(④)	50(④)	52(④)	70(④)	81(④)	前半81(④) 後半72(④)	69(④)	前半82(④) 後半88(④)	104(④)	114(④)	104(④)	前半80(④) 後半75(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【80(④)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	174(④)	160(④)	164(④)	186(④)	190(②)	前半190(②) 【199(④)】 後半188(④) 【183(④)】	182(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④)	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④) 【0(①)】	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	174(④)	160(④)	164(④)	186(④)	190(②)	前半190(②) 【0(①)】 後半188(④) 【0(①)】	182(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	415(③)	415(③)	425(③)	450(③)	465(③)	前半465(③) 後半445(③)	445(③)	445(③)	455(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【0(①)】
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②) 【02】	0(②) 【02】	0(②) 【02】	0(②) 【02】	0(②) 【0(①)】
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①)	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【62(④)】 後半120(①) 【58(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	166(④) 【151(④)】	152(④) 【139(④)】	159(④)	174(④)	178(④)	前174(④) 後161(④)	159(④)	前165(④) 後171(④)	191(④)	206(④)	198(④)	前180(④) 後174(④)
	九州向	25(④) 【164】	20(④) 【124】	21(④)	28(④)	30(④)	前30(④) 後28(④)	29(④)	前34(④) 後36(④)	41(④)	42(④)	40(④)	前31(④) 後30(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (1) 2025年度の年間運用容量 (平日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	【516(②)】	【501(②)】	【506(②)】	【541(②)】	531(②) 【626(②)】	516(②) 【491(②)】	456(②) 【416(②)】	481(②) 【416(②)】	481(②)	581(②)	581(②) 【581(②)】	【355(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【90(①)】	【120(①)】	【150(①)】	【174(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【90(①)】	【150(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	49(④)	42(④)	62(④)	91(④)	102(④)	前半94(④) 後半80(④)	58(④)	前半70(④) 後半71(④) 【0(①)】	89(④)	104(④)	77(④)	前半62(④) 後半57(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	130(④) 【130(④)】	130(④)	150(④)	150(④)	150(④)	150(④)	130(④)	130(④)	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	170(④) 【151(④)】	148(④)	184(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	181(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半186(④) 後半178(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	130(④) 【0(①)】	130(④)	150(④)	150(④)	150(④)	150(④)	130(④)	130(④)	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	170(④) 【0(①)】	148(④)	184(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	181(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半186(④) 後半178(④)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③)	440(③)	445(③) 【445(③)】	465(③)	465(③)	前半465(③) 後半440(③) 【395(③)】	415(③) 【410(③)】	440(③) 【340(③)】	445(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【80(④)】	120(①) 【80(④)】	120(①) 【81(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【43(④)】 後半120(①) 【31(④)】	120(①) 【19(④)】	前半120(①) 【29(④)】 後半120(①) 【30(④)】	120(①) 【38(④)】	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	207(④) 【159(④)】	194(④) 【147(④)】	209(④)	231(④)	230(④)	前232(④) 後217(④)	211(④)	前217(④) 後221(④)	244(④)	262(④)	247(④)	前223(④) 後213(④)
	九州向	7(④) 【0(④)】	4(④) 【0(④)】	10(④)	25(④)	23(④)	前18(④) 後16(④)	8(④)	前13(④) 後14(④)	20(④)	21(④)	17(④)	前17(④) 後16(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (2) 2025年度の年間運用容量 (平日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	【491(②)】	【476(②)】	【481(②)】	【516(②)】	506(②) 【555(①)】	465(①) 【466(②)】	436(②) 【396(②)】	461(②) 【396(②)】	461(②)	540(①)	535(①) 【535(①)】	【345(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【90(①)】	【120(①)】	【150(①)】	【174(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【90(①)】	【150(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	83(④)	69(④)	76(④)	95(④)	102(④)	前半101(④) 後半92(④)	90(④)	前半97(④) 後半98(④) 【0(①)】	111(④)	127(④)	125(④)	前半104(④) 後半94(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④) 【70(④)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②) 【200(④)】	186(④)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④) 【0(①)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②) 【0(①)】	186(④)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③)	440(③)	445(③)	465(③)	465(③)	前半465(③) 後半440(③) 【395(③)】	415(③)	440(③) 【340(③)】	445(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【95(④)】	120(①) 【93(④)】	120(①) 【93(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【77(④)】 後半120(①) 【71(④)】	120(①) 【70(④)】	前半120(①) 【91(④)】 後半120(①) 【93(④)】	120(①) 【99(④)】	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	182(④) 【177(④)】	169(④) 【152(④)】	180(④)	195(④)	188(④)	前196(④) 後183(④)	180(④)	前190(④) 後191(④)	206(④)	226(④)	230(④)	前199(④) 後190(④)
	九州向	30(④) 【21(④)】	26(④) 【17(④)】	27(④)	34(④)	37(④)	前37(④) 後34(④)	35(④)	前38(④) 後39(④)	43(④)	46(④)	45(④)	前39(④) 後36(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (3) 2025年度の年間運用容量 (休日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	【516(②)】	【501(②)】	【511(②)】	【541(②)】	531(②) 【626(②)】	516(②) 【491(②)】	456(②) 【451(②)】	481(②) 【476(②)】	481(②)	581(②)	581(②) 【581(②)】	【355(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【135(①)】	【150(①)】	【150(①)】	【120(③)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【135(①)】	【150(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	28(④)	24(④)	34(④)	61(④)	78(④)	前半72(④) 後半47(④)	33(④)	前半39(④) 【0(①)】 後半43(④) 【0(①)】	62(④) 【0(①)】	70(④)	45(④)	前半40(④) 後半39(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④) 【70(④)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	129(④) 【110(④)】	125(④)	139(④)	176(④)	190(②)	前半190(②) 後半160(④)	138(④)	前半149(④) 後半154(④)	176(④)	186(④)	157(④)	前半149(④) 後半145(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④) 【0(①)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	129(④) 【0(①)】	125(④)	139(④)	176(④)	190(②)	前半190(②) 後半160(④)	138(④)	前半149(④) 後半154(④)	176(④)	186(④)	157(④)	前半149(④) 後半145(④)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③)	440(③)	445(③)	465(③)	465(③)	前半465(③) 後半440(③) 【390(③)】	415(③)	440(③) 【340(③)】	445(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【78(④)】	120(①) 【78(④)】	120(①) 【79(④)】	120(①) 【116(④)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【27(④)】 後半120(①) 【17(④)】	120(①) 【4(④)】	前半120(①) 【13(④)】 後半120(①) 【16(④)】	120(①) 【25(④)】	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	175(④) 【130(④)】	165(④) 【122(④)】	175(④)	199(④)	208(④)	前205(④) 後183(④)	178(④)	前184(④) 後188(④)	203(④)	215(④)	199(④)	前185(④) 後185(④)
	九州向	0(④) 【0(④)】	0(④) 【0(④)】	2(④)	14(④)	18(④)	前14(④) 後8(④)	2(④)	前6(④) 後8(④)	14(④)	13(④)	7(④)	前12(④) 後10(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (4) 2025年度の年間運用容量 (休日：夜間帯)

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	【491(②)】	【476(②)】	【486(②)】	【516(②)】	506(②) 【555(①)】	491(②) 【466(②)】	436(②) 【431(②)】	461(②) 【456(②)】	461(②)	540(①)	535(①) 【535(①)】	【345(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【135(①)】	【150(①)】	【150(①)】	【120(③)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【135(①)】	【150(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	62(④)	50(④)	52(④)	70(④)	81(④)	前半82(④) 後半72(④)	69(④)	前半83(④) 【0(①)】 後半88(④) 【0(①)】	104(④) 【0(①)】	114(④)	105(④)	前半80(④) 後半75(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④) 【70(④)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	174(④) 【168(④)】	161(④)	164(④)	186(④)	190(②)	前半190(②) 後半188(④)	183(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④) 【0(①)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	174(④) 【0(①)】	161(④)	164(④)	186(④)	190(②)	前半190(②) 後半188(④)	183(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③)	440(③)	445(③)	465(③)	465(③)	前半465(③) 後半440(③) 【390(③)】	415(③)	440(③) 【340(③)】	445(③)	455(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【70(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①) 【0(①)】	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(②)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②) 【0(①)】	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①) 【94(④)】	120(①) 【91(④)】	120(①) 【91(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【62(④)】 後半120(①) 【56(④)】	120(①) 【54(④)】	前半120(①) 【73(④)】 後半120(①) 【79(④)】	120(①) 【95(④)】	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	166(④) 【151(④)】	152(④) 【139(④)】	159(④)	174(④)	178(④)	前174(④) 後161(④)	159(④)	前165(④) 後171(④)	191(④)	206(④)	198(④)	前180(④) 後175(④)
	九州向	25(④) 【16(④)】	20(④) 【12(④)】	21(④)	28(④)	30(④)	前31(④) 後28(④)	29(④)	前34(④) 後36(④)	41(④)	43(④)	40(④)	前32(④) 後31(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
 注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

3.特殊日の運用容量

特殊日として扱う日については、系統情報サービス「2023年度・2024年度連系線運用にかかわる平日・休日カレンダーについて」参照
単位：万kW

2024年度

連系線	潮流方向	断面	GW	盆	年末年始
東北東京間連系線	東京向	昼間帯	421	—	—
中部関西間連系線*1	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	18(④)	79(④)	59(④)
		夜間帯	46(④)	83(④)	106(④)
北陸フェンス*1	中部・関西向	昼間帯	118(④)	190(②)	174(④)
		夜間帯	155(④)	190(②)	190(②)
中国四国間連系線*1	中国向	昼間帯	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
		夜間帯	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	昼間帯	120以上	120以上	120以上 【120(①)】
		夜間帯	120以上	120以上	120以上 【120(①)】
中国九州間連系線*1	中国向	昼間帯	160(④)	210(④)	190(④)
		夜間帯	148(④)	177(④)	189(④)
	九州向	昼間帯	0(④)	21(④)	7(④)
		夜間帯	20(④)	32(④)	43(④)

2025年度

連系線	潮流方向	断面	GW	盆	年末年始
東北東京間連系線	東京向	昼間帯	403	—	—
中部関西間連系線*1	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	19(④)	80(④)	59(④)
		夜間帯	47(④)	83(④)	106(④)
北陸フェンス*1	中部・関西向	昼間帯	118(④)	190(②)	174(④)
		夜間帯	156(④)	190(②)	190(②)
中国四国間連系線*1	中国向	昼間帯	120(①)	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	昼間帯	120(①) 【78(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①)
		夜間帯	120(①) 【91(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①)
中国九州間連系線*1	中国向	昼間帯	160(④)	211(④)	190(④)
		夜間帯	148(④)	177(④)	189(④)
	九州向	昼間帯	0(④)	21(④)	7(④)
		夜間帯	20(④)	32(④)	43(④)

()内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
*1 休日または特殊日明けの夜間帯のうち0:00~8:00は、休日または特殊日の夜間帯の運用容量とする。

4.2026～2033年度の長期運用容量

単位：万kW

連系線	潮流方向	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度
北海道本州間連系設備 ¹⁾	北海道向	90(①)	90(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	東北向	90(①)	90(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
東北東京間連系線 ²⁾	東北向	236(①)	236(①)	631(①)	631(①)	631(①)	631(①)	631(①)	631(①)
	東京向	531(②)	531(②)	1028(②)	1028(②)	1028(②)	1028(②)	1028(②)	1028(②)
東京中部間連系設備 ³⁾	東京向	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)
	中部向	210(①)	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)
中部フェンス ⁴⁾	北陸・関西向	329(①)	329(①)	310(②)	310(②)	310(②)	310(②)	310(②)	310(②)
	中部向	326(①)	326(①)	329(①)	329(①)	329(①)	329(①)	329(①)	329(①)
北陸フェンス ⁴⁾	北陸向	308(①)	308(①)	309(①)	309(①)	309(①)	309(①)	309(①)	309(①)
	中部・関西向	460(②)	460(②)	435(②)	435(②)	435(②)	435(②)	435(②)	435(②)
関西フェンス ⁴⁾	関西向	329(①)	329(①)	310(②)	310(②)	310(②)	310(②)	310(②)	310(②)
	中部・北陸向	326(①)	326(①)	329(①)	329(①)	329(①)	329(①)	329(①)	329(①)
関西中国間連系線	関西向	465(③)	465(③)	465(③)	465(③)	465(③)	465(③)	465(③)	465(③)
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線	中国向	278(①) 【148(④)】	278(①) 【148(④)】	278(①) 【148(④)】	278(①) 【148(④)】	278(①) 【148(④)】	278(①) 【148(④)】	278(①) 【148(④)】	278(①) 【148(④)】
	九州向	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】	23(④) 【0(④)】

()内の数字は、運用容量決定要因(①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持)を示す。【】内の数字は、最大需要時以外で空容量が小さくなると予想される値を示す。

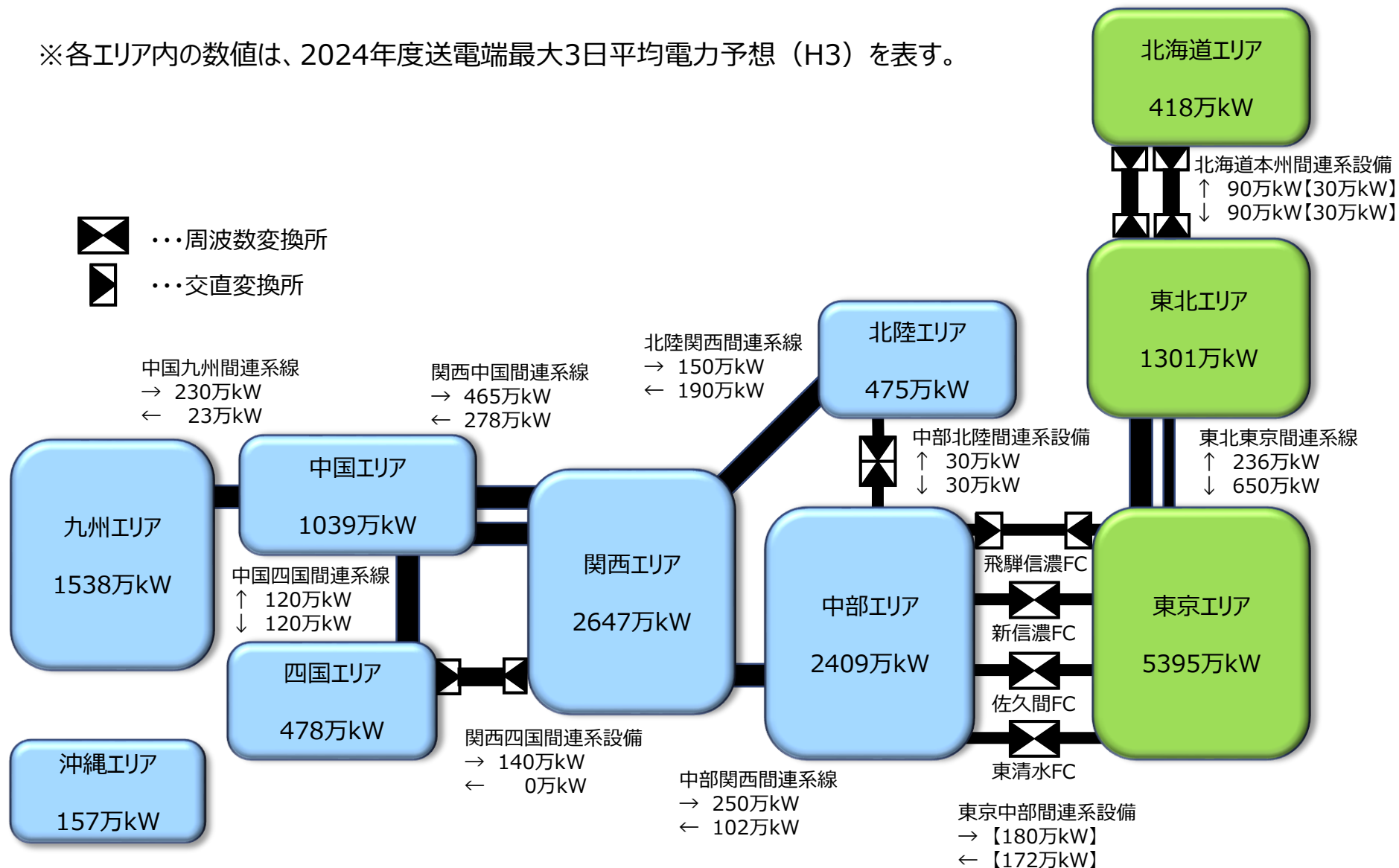
1) 2027年度に北海道本州間連系設備30万kWの増強を予定。

2) 2027年東北東京間第二連系線の増強を予定。

3) 2027年度に東京中部間連系設備90万kWの増強を予定。

4) 2026年度に中地域交流ループ運用開始の予定。

※各エリア内の数値は、2024年度送電端最大3日平均電力予想（H3）を表す。



【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。